



中丹

農業改良

普及センターだより

都市農村交流の「受け入れ農家」の育成

本物の農家を体験したいんだけど…受け入れてくれる方、いませんか？

農村支援プロジェクトチームの活動紹介



田舎暮らしや農業に関心を持っている都市住民は多くおられます。しかし、いきなり移住するのはかなり勇気がいります。そのため、芋掘り体験や果実の収穫体験はあるけど、「何か物足りない、もっと本物の体験をしたい」という方が増えています。



【黒大豆栽培交流の実践例】

～参加者の声～

普段あまり体を動かさないから良い運動になるよ。作業は大変だけど空気はよく、収穫の喜びは格別だし、農家の苦勞がよくわかった。

普及センターでは「農家体験」受け入れ講習会を開催しています。農家の皆さんが、どのような形で都市住民と交流していけばよいのかを考える機会になっています。第1回目は6月に3会場で実施しました。今後も月1回程度の講習会を下記のとおり計画しています。受講してみたい方は、普及センターまでお問い合わせ下さい。

今後の「農家体験」受け入れ講習会スケジュール

- 第4回【10月】：宿泊体験に係る法規制等について
 - －旅館業法、消防法、保険－
- 第5回【12月】：体験プログラムの組み立て方①
 - －地域資源の発掘法、事例紹介－
- 第6回【1月】：体験プログラムの組み立て方②
 - －情報交換－
- 第7回【2月】：1年間のまとめ
 - －ネットワークづくり－

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆
平成20年8月

中丹西農業改良普及センター

【担当地域：福知山市】

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91

TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

中丹東農業改良普及センター

【担当地域：舞鶴市・綾部市】

〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2

TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

安心・安全! 環境に配慮した生産技術




～「万願寺とうがらし」ハウス栽培での天敵利用～

「万願寺とうがらし」の栽培において、害虫防除に天敵を利用されている生産者は50名を超え、中丹地域では定着しつつある技術です。

化学農薬の使用が減らせるため、農薬散布の省力化や農薬の残留問題の回避が期待される技術ですが、効果を得るためには、害虫と天敵の関係をよく理解することが大切です。

天敵のタイプはひとつじゃない!!

天敵のタイプは食う食われるの関係でつながっている「捕食」だけではありません。他の生物から一方的に栄養を奪い取る「寄生」もあります。

害虫の種類	害虫被害	タイプ	天敵名 (商品名)
アザミウマ (スリップス) 	果実のへたが黒ずむ	捕食	ククメリスカブリダニ(ククメリス) タイリクヒメハナカメムシ(オリスターA)
ハダニ 	葉色があせ、光合成が減少する	捕食	ミヤコカブリダニ(スパイカル) チリカブリダニ(スパイデックス)
アブラムシ 	汁を吸われ生育が悪くなる すす病の原因	寄生	コレマンアブラバチ(アフィパール)

【放飼の一例】



◆オリスターA
これは簡単! 株の上から振りかけるだけ。



◆ククメリス
株元などに振りかける。

＝天敵利用農家の声＝

3種類の害虫 アザミウマ、ハダニ、アブラムシ対策に天敵を使うようになってとっても楽になりました。

下手に何回も農薬をやるより手間賃のことを考えれば費用も安いし、何より暑い夏場の農薬散布から開放された喜びは大きいですよ。

動噴のホースひっぱりもなくなって、女房も喜んでますよ!



舞鶴市の団野 誠さん



農希代表：市田幸司さん

株式会社で儲かる農業を実現!

farmu labor 農希

farmu labor (ファーム レーバー) とは野良仕事のことと代表の市田幸司さんは説明してくれました。市田さんが農業をするきっかけは、以前に農協さんの肥料配達を請け負っていた時、多くの農家から農業を辞めると聞いたこと。高齢化して、若者が少ない現状だからこそ、逆に農業にもチャンスはあるのではないかと考えたそうです。そこで、周囲の方々に相談をし、株式会社を昨年の6月に設立されました。

今年には綾部市今田町でイチゴ、万願寺とうがらし等をハウス15棟で栽培され、パートさん3名とともに農作業に励んでおられます。

モットーは「常に希望を持って」。
農希が農の希望となるよう、日々、頑張っておられます。

モットーは「常に希望を持って」。
農希が農の希望となるよう、日々、頑張っておられます。



地域の農業は私たちにまかせて!

中丹地域を「ひっぱる」組織担い手

～集落営農でがんばる～ 有限会社 かみむとべ営農



代表取締役：溝島美代志さん

福知山市上六人部地域では、地域農業を守り、さらには、より活性化させるために地域の営農組織を法人化させる取り組みを進めてこられました。そして、平成17年5月、地域の期待を一身に背負い、「有限会社 かみむとべ営農」が誕生しました。

同組織の業務内容は、水稻栽培と水稻の作業受託をメインとし、転作として小麦、特産野菜(キュウリ、ニンジン)、黒大豆イタマメなどの栽培を手がけておられます。今後は水稻以外の分野の規模拡大を図り、所得の向上を目指す構想をお持ちです。また、本組織は、地域住民の創意と工夫で村づくりを進める「上六人部地域づくり協議会」の中の6部会の1つに位置づけられており、地域活性化の牽引役として活躍されています。



地域ではばたく 京野菜の新しい担い手

— 京野菜新規栽培セミナーを受講して —

普及センターでは、京野菜の新規栽培を目指す方を対象に「京野菜新規栽培セミナー」を開催しています。

今回は、一昨年の本セミナー受講をきっかけに万願寺とうがらしを栽培されている、綾部市の四方多眞規さんをご紹介します。



仲良く万願寺とうがらしを栽培されている四方さんご夫婦

四方さんは、退職をきっかけにJAに勧められ、セミナーを受講されました。その後、ビニールハウスを建設し、セミナーで勉強した万願寺とうがらしと後作にみず菜の栽培を始められました。

「1年目の栽培は思っていたより大変なことが多くあり、防除時期を逸したりして失敗した～」と語っておられました。

巡回等でほ場を訪ねていくと、暑い中でも草引き作業などを「暑い、暑い」といいながらもご夫婦でいつも仲良く作業をされています。

また、就農を考えておられる方へのアドバイスとして「農作業は手を抜いちゃダメ。今日することは今日中に行うこと。基本は重要。どこかのセミナーなどを受講する方法がいいですよ。」とのお言葉をいただきました。

新しい農業士さん よろしくお祈いします!



ひぐち やすお
樋口 泰夫 さん

(福知山市三和町)

■栽培品目:水稲、万願寺とうがらし、ミズナ、えだまめ、くり等

樋口さんは、これまでに多くの若い就農希望者を積極的に受け入れ、地域農業の担い手として育ててこられました。ご自身も農業法人「丹波の里 ひぐち農園」を昨年立ち上げられ、地域農業の新たな経営モデルの確立に頑張っておられます。農業士としてのご活躍も、期待されます。

退任された農業士さん お世話になり、ありがとうございました。

むらかみ ひろたか

村上 敬貴 さん(綾部市小畑町)

村上さんの一言

平成10年に青年農業士に認定され、10年間の任期を終えました。酪農という仕事柄、家を空けることが難しく、農業士活動に積極的に関われなかったことが残念です。農業士を辞めても酪農は続けますので、今後も中丹農業の発展に協力できたらと思っています。

「新規栽培セミナー」のご案内

これから京野菜の栽培を始めよう
と思っている方!

まずは、このセミナーで京野菜と
農業の基礎を学びましょう!

普及センターでは、中丹地域にお
住まいで企業等を退職された方などで新たに京野菜の栽培・出荷をお考えの方を対象に、京野菜と農業の基礎を学んでいただく「京野菜新規栽培セミナー」を今秋開催します。

日時等の詳細は未定ですが、興味をお持ちの方は下記まで御連絡ください。

詳細決定後にご案内させていただきます。

【記】

【舞鶴市、綾部市にお住まいの方】

京都府中丹東農業改良普及センター
TEL 0773-42-2255

【福知山市にお住まいの方】

京都府中丹西農業改良普及センター
TEL 0773-22-4901



昨年のセミナーの様子(農機具実習)